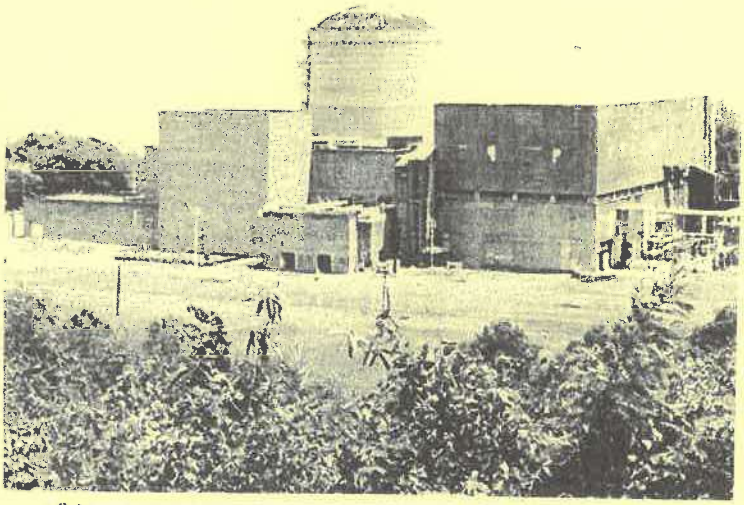
【第 30 回グローバリゼーション講座】

フィリピン市民はバターン原発も小型モジュール炉も NO！

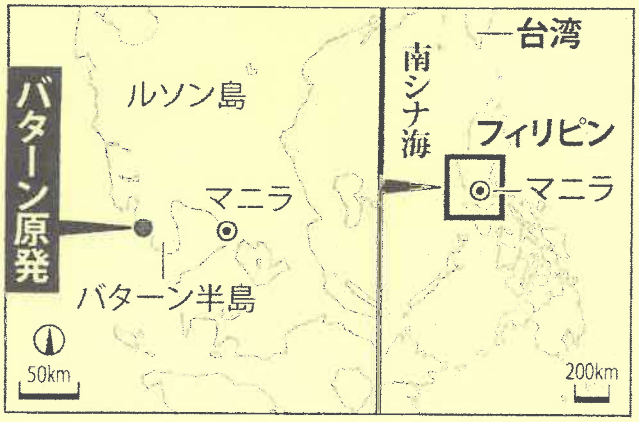
～「ノーニュークス・アジアフォーラム in フィリピン」参加報告～



バターン原発（1984 年にマルコス大統領（現大統領の父）による独裁政権時代に建設されたが、粘り強い反対運動により現在まで一度も稼働させず）



バターン原発復活反対！！
「民衆ストライキ」40 周年記念集会（2025 年 6 月）
（1985 年の抗議行動に参加した 18 名を含む 130 名以上の様々な活動家が参加。過半数が若者）



アジア各国政府は、原発推進に大きく方向転換中です。あの福島事故を経験した日本が「再稼働推進」状態だから、安全で大丈夫だと。残念ながら日本政府の「再稼働推進」政策が利用されています。

フィリピンのマルコス政権は、初の原発稼働へ向け韓国や日本などからも支援を受けています。また小型モジュール炉（SMR）のような原発新技術の「実験台」にされつつあります。

2026 年 6 月 17 日から、アジアで原発反対運動を続ける仲間たち（日本、韓国、台湾、インドネシア、タイ、インド、オーストラリア）がフィリピンに集まり、フォーラムを開催。各国の現状報告を受け、フィリピンの「バターン原発」の現地視察や意見交換をします。

今回のフォーラムに参加する渡田正弘が、フィリピンを中心としたアジア各国の原発と反原発運動の現状を報告します。ぜひご参加ください。

■時：2026 年 7 月 11 日（土）
14：00～16：30

■所：広島国際会議場 研修室3
広島市中区中島町1-5、☎082 - 242 - 8879

参加費：500 円（障がい者、学生無料）

報告者： 渡田 正弘
（「グローバリゼーションを問う広島ネットワーク」事務局長、「上関原発止めよう！広島ネットワーク」世話人）

1951年広島市生まれ。1970年代に東京で「台湾の政治犯を救う会」活動に従事。1980年代から広島で自然食品販売業に長く携わった後、米国のNGO「食料開発政策研究所」でのインターン及び日本の環境NGO「市民フォーラム2001」でのスタッフ経験を経て市民活動を行う。現在は「上関原発止めよう!広島ネットワーク」でも活動中。

■主催／お問い合わせ
Globalization Watch Hiroshima
グローバリゼーションを問う広島ネットワーク
連絡先：〒733-0815広島市西区己斐上4-17-15
TEL&Fax: 082-271-0854、090-6835-8391（渡田）
ホームページ：http://globalwatch.o.oo7.jp